

第 5 4 期 中 央 労 働 講 座 に 参 加 し て

全港湾日本海地方七尾支部 干場 敦

5月18日（昼）から20日（昼）まで中央労働講座に参加させていただきました。

初日は鈴木副委員長の人材不足での『離職対策におけるメンタルヘルス問題』の講義がありました。講義の中でメンタルヘルス専門の医師の重要性や職場復帰での対応のお話がありました。その中で産業医の先生ではメンタルヘルスへの診断や対応が難しいのではないかと、労使でメンタルヘルスの場合はどここの先生に診てもらった方がいい等の知識をもつのも大事ではないかと感じました。

2日目の講義では鈴木委員長の講義、その後は畠山副委員長の講義がありました。

鈴木委員長の講義では『全国港湾の成り立ち』についてお話があり、畠山副委員長の講義では『港湾運送事業と港湾労働法』のお話がありました。

鈴木委員長のお話の中で一港一社制の廃止の経緯や全国港湾の成り立ちの話聞き執行部になる前に聞いていた時は何となく聞き流していたことを改めて、認識させていただきました。畠山副委員長のお話は、港湾運送事業、港湾労働法についてスクリーン等を使いとても分かりやすくいただきました。賃金計算（時間外労働、時給、深夜労働、休日労働等）この辺りの話は若い子もとても興味を持つことだと思うので支部に帰ってもしっかりと勉強して答えられるようにならなければと感じました。

3日目の最終日は橋崎副委員長より『詫間港運闘争から学んだ団結の必要性』についてお話がありました。実際に体験した人のお話を聞きユニオンショップというのはとても強力なものだなと勉強させていただきました。

最後のグループ討論では活発な議論がありそれをまとめグループとして発表していきました。こういう事の積み重ねがいざ会社との交渉等の時役に立つのではないかと感じました。最後に鈴木委員長より総括をまとめていただき、無事第54期中央労働講座を終えることが出来ました。

改めまして、講師をしていただきました皆様大変ありがとうございました。